

# RANSOME フロアターンテーブル

## RANSOME フロアターンテーブルの特徴

■テーブル主軸の軸受け構造が異なる、二種類のタイプを標準化しています。

- (1) 中空軸型ターンテーブル (RF-1000型およびFR-2500型)
- (2) スルーリング型ターンテーブル (RF-6000型以上の大型機に採用)

### ■中空軸型ターンテーブル

- ◆RF-1000型およびFR-2500型ターンテーブルは、中空軸型ターンテーブルです。軸受けは、大型のテーパコーロベアリングを採用しています。
- ◆回転駆動装置は、テーブルの下部に格納され、テーブル面周囲から突出する部分はなく、配置を考慮した設計がなされ、テーブル表面は機械加工を施しております。

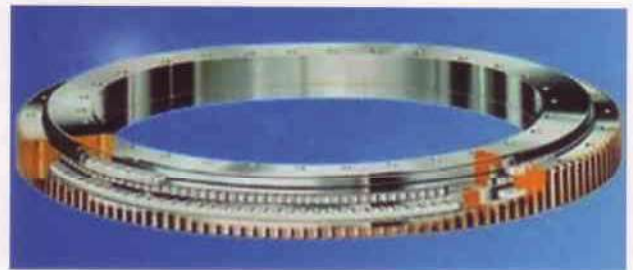
### ■スルーリング型・ターンテーブル

FR-6000型(最大搭載荷重：2,700kg)以上のフロアターンテーブルは、すべて“スルーリング型”で、テーブル回転機構にはスルーリングを採用しています。

- ◆スルーリングは、クロスフローベアリングの外周に旋回用の歯車が加工されており、テーブルの回転がスムーズで振動が抑えられます。
- ◆大径のスルーリングを採用することで、テーブルと受け部分はそれぞれ直接ベアリング部にボルト固定します。そのため軸受け構造が単純で、負荷を均一に支えるため、偏荷重の問題が発生しません。



中空軸型フロアターンテーブル



スルーリングの写真

## RANSOMEフロアターンテーブル 仕様一覧

主仕様	RF-1000	RF-2500	RF-6000	RF-10000	RF-20000	RF-40000	RF-80000	RF-120000
搭載容量(kg)	450	1,100	2,700	5,700	9,000	18,000	36,000	71,000
最大偏芯量(mm)	150	150	300	300	300	300	300	300
主軸受構造	中空軸&テーパコーロ		スルーリング (クロスフロー・ベアリングに外周ギヤ加工)					
テーブル(rpm)	0.05~2.0	0.038~1.55	0.037~1.48	0.034~1.37	0.025~1.0	0.0125~0.5	0.0127~0.51	0.017~0.68
モーター容量(kW)	0.375	0.562	0.75	0.75	0.75	0.75	1.5	2.25
テーブル径(mmφ)	760	1,060	1,520	1,520	1,520	1,830	1,830	1,830
テーブル全高(mm)	600	600	600	600	600	710	810	915
テーブル板厚(mm)	16	16	19	19	25	25	32	32
テーブル溝数(本)	4	4	4	4	4	4	4	4
自重(kg)	430	820	1,640	1,730	2,182	2,182	3,140	3,865